

開設年度		開講部局	
2017		共通教育	
科目名			
陽明学入門			
英語科目名			
An Introduction to the Teachings of Wang Yang-ming			
前後期	開講区分	科目形態	単位数
後期	毎週	講義	2
(28年度以降入学生)中分類		(28年度以降入学生)小分類	
教養教育科目(教養基礎科目)		人文社会科学分野(選択科目)	
(25年度以降入学生)中分類		(25年度以降入学生)小分類	
b. 知力:人文・社会科学		9. 歴史・地理を学ぶ	
(24年度以前入学生)大区分		(24年度以前入学生)中区分	
教養科目		分野1	
受講学部学科			
全			
担当教員		担当教員所属	
吉田健一		稲盛アカデミー	
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)	
099-285-3753		k5621643@kadai.jp	
オフィスアワー(授業時間外の対応)			
随時可(但し、事前にメールによる連絡をください)			
共同担当教員			
アクティブ・ラーニング			
5. 学習の振り返り;			
アクティブ・ラーニング(「その他」の内容)			
アクティブ・ラーニング(授業回数)			
15回中10回			
理念 重要視する教育目標			
5. 倫理 1) 社会生活の基盤となる倫理について、考えを述べられる			
理念 教育目標			
6. 実践 1) 状況に応じた方法で必要な行動ができる			
理念 教育目標			
7. 他者との協働 1) 自身の責任や立場を理解し、自覚的に行動できる			
理念 教育目標			
1. 自己理解 1) 自身の関心・能力・価値観を踏まえて行動できる			
授業概要(目的・内容・方法)			
『伝習録』に見られる王陽明の言葉により忠実にあたり、陽明学の本質を掴む。儒学の歴史について概観した後、宋の朱熹と陸象山にみる「心」に対する考え方の違いを確認し、王陽明の思想をみて行く。			
今日、「陽明学」と呼ばれる新儒学の思想体系は王陽明の思想を指すが、一番肝心なのは、王陽明が人間の「心」というものをどう捉えていたかである。陽明学はしばしば、「革命の哲学」や「反逆の哲学」、「行動の哲学」という解釈がなされるが、それは正しくない。陽明学は社会思想でもなければ、革命哲学、行動の哲学でもない。ましてや支配者の論理(帝王学)でもなければ、逆に労働者解放の論理でもない。			
しかし、陽明学が、社会思想、革命哲学、行動の哲学と(日本で)誤解されてきたことにもそれ相応の理由があり、心の学(心学)でありながらも、社会や政治に直接的影響を与えて来たことも確かなことである。そして、その影響の与え方は多岐に渡り、誤解・浅解のどれもがそれなりの理由に基づく。			
本講義ではその理由は何であるかを真剣に考えたい。そして、世間に広まっている「俗流陽明学」と一線を画し、王陽明『伝習録』から直接、陽明学の真髄を共に学びたい。			
学習目標			
1. 授業の目的は、『伝習録』に見られる王陽明の言葉により忠実にあたり、陽明学の本質を掴むことである			

。今日、「陽明学」と呼ばれる新儒学の思想体系は王陽明の思想を指すが、一番肝心なのは、王陽明が人間の「心」というものをどう捉えていたかである。陽明学はしばしば、「革命の哲学」や「反逆の哲学」、「行動の哲学」という解釈がなされるが、それは正しくない。陽明学は社会思想でもなければ、革命哲学、行動の哲学でもない。ましてや支配者の論理（帝王学）でもなければ、逆に労働者解放の論理でもない。このことを正確に理解することが目的である。

2. 授業の内容は、儒学の歴史について概観した後、宋の朱熹と陸象山にみる「心」に対する考え方の違いを確認し、王陽明の思想をみて行く。まず朱子学について解説し、その後、王陽明の生涯を解説し、陽明学の主要概念を解説する。その際、朱子学との違いを意識しつつ、儒学全体の中での陽明学の位置づけを解説する。

3. 授業の方法はテキストに従って、解説して行く。随時、フィードバックシートによる受講生の意見も紹介する。

授業計画・試験の有無（16回[初修語は31回]に分け、回数、授業内容、自学自習等）

- 1: はじめに - 陽明学とは何か? 講義の狙い
- 2: 儒学の歴史1
- 3: 儒学の歴史2
- 4: 朱熹と陸象山 心即理と性即理
- 5: 王陽明の人生・人となり
- 6: 格物(カブツ)
- 7: 良知(リョウチ)
- 8: 良知 2
- 9: 心即理(シンソクリ)
- 10: 天理・人欲(テンリ・ジンヨク)
- 11: 知行合一(チコウゴウイツ)
- 12: 事上磨練(ジジョウマレン)
- 13: 万物一体の仁(バンブツイツタイジン)
- 14: 抜本塞源論(ハツポソクゲンロン)
- 15: 王陽明亡き後の「陽明学」 王龍溪・王心齋・李卓吾
- 16: 期末レポート

授業外学習(予習・復習)

予習: 配布テキストの次回の講義の部分を一読してこること。

復習: 授業で学んだ内容を振り返り(配布資料を読み返し)、感想をA4、1枚のフィードバックシートにまとめて、1週間以内に提出すること。

受講要件	成績の評価基準
基礎知識は一切不要であるが、休みなく出席し真剣に受講する意志を有するもの。	毎回のフィードバックシートの提出(50%)、期末レポート(50%)。
教科書	参考書
受講者には最初にテキストを配布する。 『陽明学入門』(吉田健一・鹿児島学術文化出版・非売品)	『伝習録』王陽明・溝口雄二訳・中公クラシックス・2005年、『伝習録「陽明学の真髄」』吉田公平・タチバナ教養文庫・平成7年、『朱子学と陽明学』島田虔次 岩波新書 1967年、『林良斎 シリーズ陽明学27』松崎賜・明德出版社・平成11年、『山田方谷 シリーズ陽明学28』山田琢・明德出版社・平成13年、『東澤瀉 シリーズ陽明学35』野口善敬・明德出版社・平成6年、『池田草庵 シリーズ陽明学30』望月高明・明德出版社・平成13年 他

地域志向科目の区分(平成27年度入学生用)

その他